



サイト内検索

[JR貨物について](#)
[採用情報](#)
[環境を考えれば
鉄道貨物輸送](#)
[鉄道貨物輸送
サービスのご案内](#)
[関連事業のご案内](#)
[トップ](#) > [鉄道貨物輸送サービスのご案内](#) > [サービス向上に向けた取組み](#) > [E&S\(着発線荷役\)方式の拡充について](#)

鉄道貨物輸送 サービスのご案内

[▶ 仕組みと特長](#)
[▶ 値段の仕組み](#)
[▶ 「お問い合わせ」から
「利用」まで](#)
[▶ コンテナのサイズ・種類](#)
[▶ 様々な輸送サービス](#)
[▶ エリア別サービス案内](#)
[▶ サービス向上に向けた取組み](#)
[▶ ソリューションチーム](#)
[▶ 車両の開発について](#)
[▶ 危機管理への
取組みについて](#)
[▶ 輸送中の荷物を
守るための取組み](#)
[▶ E&S\(着発線荷役\)方式
の拡充について](#)
[▶ IT-FRENS&TRACE
システムの開発について](#)
[▶ モーダルシフトに向けた
インフラの増強について](#)
[TOP](#)

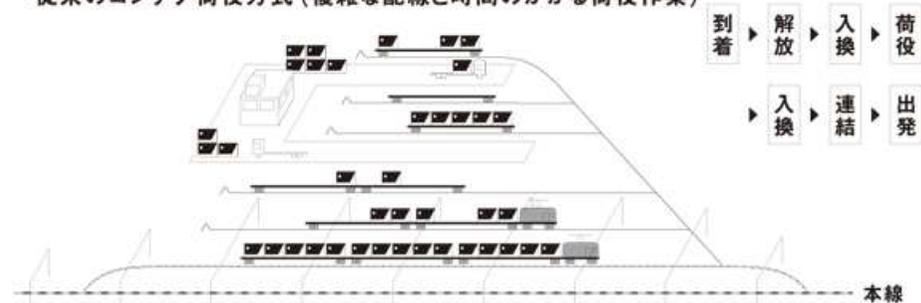
E&S(着発線荷役)方式の拡充



コンテナを本線上の列車から積卸しすることを「**E&S方式(着発線荷役)**」といいます。これは着発線上に荷役ホームがあり、列車が駅に到着した直後に荷役作業を開始し、そのまま発車できるものです。

現在、この方式の駅は全国に27駅あり、駅構内での複雑な入換作業が要らないため、大幅なリードタイム短縮とコスト削減が図れることから、今後も積極的に採り入れていきます。

従来のコンテナ荷役方式(複雑な配線と時間のかかる荷役作業)



E&Sコンテナ荷役方式(単純な配線と短時間で済む荷役作業)

